

B 日本史問題

注 意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて黒鉛筆または黒のシャープペンシルで記入することになっています。黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。
(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は16ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ・Ⅱとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のように黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文章はある高校生のひとりごとである。これを読み、下記の設問 A・B に答えよ。
解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

日本史の K・Y 先生が「文字と人間」という探究課題を出した。「何でも調べて書けばいい」という。先生は、大学生の頃には生活綴^{つづりかた}方という教育運動を研究し、この運動に憧れたらしい。生き生きとした言葉を綴り、分かち合う授業をしたい、というのが先生の口癖である。先生によると、戦前にはこの運動を担った教師が治安維持法¹⁾に触れるとして大勢検挙されたようだ。とりあえず日本史の教科書を参考に、日本で言葉はどのようにして文字にしるされ、その文字を人々はどう習い覚えていったのか、国語や教育の歴史に関する研究をのぞいてみることにした。

教科書のはじめの方を読む限り、日本列島の様子を知る文字による手がかりは、ただ国外にのみ、古代中国の歴史書にしかない。それも弥生時代以降に関する記述になる。縄文時代には本²⁾当に文字はなかったのか。(イ)貝塚の調査研究で知られる、アメリカの動物学者のモースは、発掘された土器を「コード・マークがある器」と名づけた。土器の縄目紋様や形、多彩な土偶などには、何らかの情報を伝え合う機能があったのかもしれないが、文字と同定可能な遺物は見つかっていないようだ。

弥生時代には、大陸から稲作が伝わり、金属器も取り入れられた。伝えた人々はすでに文字を有していた可能性が高いし、伝えられた先住者も文字なしの情報交換を続けていたとも考えにくい。近年の研究では、弥生時代の遺跡³⁾で見つかった石片の一部は、硯石^{すずり}として使われていた可能性が高いとする説がある。石片が出土した九州北部では、大陸との交易で文字を使った交渉もおこなわれていたと考えられるが、残念ながら、まだ文字も筆記具も発見されていないようだ。

文字を用いていると、文字のない社会、文化を想像しにくいだが、例えば、アイヌの人々は独自のアイヌ語を用いても、文字は持たなかった。口承により独自の文化を伝えている。

現段階⁴⁾では、日本列島で発掘された遺物で最も古い文字と確認されているのは、小学生の頃から何度も習った、あの金印のようだ。これは大陸伝来のものだろう。奈良県の(ロ)神宮が所蔵する4世紀後半の七支刀には銘文が刻まれているが、これも百済⁵⁾が倭王に贈ったものとされている。5世紀後半の刀剣銘には、ヤマト政権の支配力が広く及んでいたことが漢文で示⁶⁾されている。大王の名が獲加多支鹵(ワカタケル)と刻まれているように、漢字の音を借りて固有名をしるしている。6世紀になると、漢字の単語自体の意味(字義)に対応させて日本の言葉をしるす、訓の使用例も見られるようになる。島根県の(ハ)1号墳出土の大刀銘文にある「各田⁷⁾臣」(額田部臣)は、姓の一つ「臣」をしるした、訓

の最古の使用例とされている。

こうして次第に漢字の習熟が進んだようだ。支配層にとっては、当時の国際情勢に鑑みれば、漢文を用いて他国と交渉するのは必然で、また日本列島内で支配域を広げていく上でも、文をしるすのは好都合だったのだろう。「東夷」と位置づけられた倭国は、7世紀の初めには、大陸の皇帝に対し、「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」との国書⁷⁾を渡し、皇帝から「蛮夷の書、無礼なる有らば、復た以て聞する勿れ」と怒りを買った。

律令制のもとでは文書主義が徹底され、宮都でも地方でも、官人、役人たちは漢文の読み書きに習熟する必要があったようだ。平城宮跡や長屋王邸宅跡、また大宰府、多賀城などの地方の役所跡でも、各地の遺跡で7世紀後半から8世紀の（ニ）が数多く出土している。そのなかには文字、文書、典籍を習い覚える習書（ニ）が多数含まれており、役人たちの学習の跡がうかがえる。官人養成機関として、中央に大学、各地方には（ホ）が設置され、官人や郡司の子弟たちに儒教の経典などが教えられた。

漢文は言うまでもなく外国語であり、読みこなすにも、書きしるすにも、日常語とはまったく異質の習熟の過程が欠かせない。やがて、変体漢文や訓読法が生み出され、さらに漢字の意味を捨象し、音だけを借りて和文を書きしるす万葉仮名が開発された。そして、より速くしるすべく漢字の字画を省略したカタカナや、万葉仮名を崩したひらがなが成立したようだ。（ヘ）寺千手観音像胎内檜扇墨書には、ひらがなと見なし得る字体が見られるとされている。（ヘ）寺は嵯峨天皇が空海に与えた密教の根本道場で、東寺ともいう。律令制が崩壊し、また文字、文章表記が多様化すると、漢文に習熟していたはずの貴族たちもその漢文作成能力を減じたようである。藤原（ト）は自身の日記『小右記』のなかで、別のある貴族を「一文不通」と嘲笑し、その昇進を難じている。

では、漢文能力は減じられていったとして、その一方で、かな文字の普及により、下層の庶民にも読み書きが拡張していったのだろうか。文書はあくまでも漢文を模した文体で、「候文」に揃えられていった。口語とは隔たったもので、読むにも書くにもやはり習熟の機会と努力が必要だった。書きしるす道具類の入手も困難だっただろう。13世紀後半の紀伊国の（チ）荘百姓等訴状は、地頭の非道を「ミ、ヲキリ、ハナヲソキ」と主としてカタカナ書きで訴えている。鎌倉時代の半ば過ぎには、有力農民たちのなかに読み書き能力を備える者が現れていた。中世の後半には、村落の文書が増大し、読み書きの担い手は拡充したようだ。

平安時代後期から明治時代初期に至るまで、手紙文を範例とした文字、文体、語彙などを習い覚えるための教科書が盛んに作成された。これらは「往来物」と総称されていて、多様な往来物があったようだ。百姓一揆の直訴状という、権力にとって不都合な文書も教

材となった。例えば、寛永白岩一揆は、主だった百姓たちが磔^{たっけい}刑に処され凄惨な結果に終わったが、その直訴状は後に「白岩（リ）」として写本が流布した。各地で同様の「（リ）往来」が教材として伝えられたようだ。享保の改革で將軍徳川吉宗が評定所前に（リ）箱を設置したように、（リ）とは訴状のことである。

江戸時代には、手習い師匠を専業とする者が各地で現れるほど、民衆の読み書きへの需要が増していた。出版の隆盛に伴い、上層の民衆は娯楽、教養を求めようにもなり、多様な手習い塾があった。竹田出雲らの『菅原伝授手習鑑』⁸⁾には「寺子屋」の段があり、好評を博した。多様な手習い塾は、今日では「寺子屋」の名で総称されている。

それでは、読み書きができる民衆はどのくらいの割合であったのだろうか。江戸時代に識字率を確認する全国的な調査統計はないようなので、人別帳や訴状、手習い塾の門人帳の署名などを手掛かりに、部分的な推測しかできない。ただ、村全体でまとめて年貢・諸役を課され、村全体で責任を持って負担する（ヌ）制は、村に文書のやり取りができる人々があって維持されたはずである。明治時代の初期の調査を詳細に分析した近年の研究によると、どの村でもほぼ1割程度の男子が文書作成、文通可能な能力を有していたという。これが村の指導層を成していたのだろう。

そして明治に入り、国民皆学の近代学校制度が確立されていく。往来物も寺子屋も姿を消した。今日では、言文一致⁹⁾の教科書を得て、ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字、英数字など、縦書き¹⁰⁾でも横書きでも、誰もが自在に読み書きできるよう学ぶ機会を得ている。でも、いったい何のために、何をしるしているのだろう。

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～10)にそれぞれ対応する次の問1～10に答えよ。

1. これに関する次の文中の空所〈あ〉・〈い〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

男性普通選挙制が導入されたのと同じ1925年に制定された。〈あ〉内閣は1928年に緊急勅令によりこれを改正し、最高刑は10年以下の懲役・禁錮から死刑・無期となった。1945年、〈い〉内閣の際、GHQが人権指令のなかでこの法の廃止を指示した。

- a. 〈あ〉：加藤友三郎 〈い〉：鈴木貫太郎
- b. 〈あ〉：加藤友三郎 〈い〉：東久邇宮稔彦
- c. 〈あ〉：田中義一 〈い〉：鈴木貫太郎
- d. 〈あ〉：田中義一 〈い〉：東久邇宮稔彦

2. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 『漢書』地理志によれば、倭人は帯方郡の東南海中にあり、百余国に分かれていた
- b. 『後漢書』東夷伝によれば、倭国王難升米は後漢の皇帝に奴隸を献上した
- c. 『三国志』の「魏志」倭人伝によれば、邪馬台国女王卑弥呼の墓には奴隸が殉葬された
- d. 『晋書』倭国伝によれば、倭王武は兄興が死して後に王となり晋に上表した

3. これに関する次の文 i ~ iv に該当する所在地はどれか。下記の地図中の a ~ d からそれぞれ1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- i. 砂丘上の墓地で、抜歯された人骨や石鏃を打ち込まれた人骨など、数多くの人骨が発掘されている
- ii. 集落と水田の跡が戦後初の科学的な発掘調査で確認され、稲作文化の存在が証明された
- iii. 1884年にここで出土した壺型土器が、弥生式土器と名付けられた
- iv. 大量の木製品や脳まで残る人骨が出土し、残存状況がよい「地下の弥生博物館」と呼ばれている



4. これに関する次の文中の空所〈う〉・〈え〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

幕末に幕府から蝦夷地の調査を命じられた〈う〉は、蝦夷地でアイヌの人々と生活をともにし、和人によって過酷な状況にさらされたアイヌの人々の独自の文化を守る必要があると考え、1万近いアイヌ語の地名をしるした地図を作成した。明治に入り、〈う〉は新政府に蝦夷地の新名称の選定を命じられ、アイヌ語で「この地に生れた者」を意味する「カイ」を含む「北加伊道」を提案した。

しかし、明治政府は北海道開拓を推し進め、アイヌの人々には伝統的な狩猟、漁労を禁止し、同化政策を強要したため、アイヌの人々の独自の文化は失われていった。そうしたなか、国語学者の金田一京助はアイヌ語、アイヌ文学を研究し、〈え〉にアイヌの伝説、神話を筆録することを勧め、支援した。その成果は『アイヌ神謡集』としてまとめられている。

- a. 〈う〉：松浦武四郎 〈え〉：知里幸恵
- b. 〈う〉：松浦武四郎 〈え〉：バチェラー八重子
- c. 〈う〉：松田伝十郎 〈え〉：知里幸恵
- d. 〈う〉：松田伝十郎 〈え〉：バチェラー八重子

5. これに関する次の文中の空所〈お〉・〈か〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

4世紀中頃に〈お〉諸国が統一され形成された。倭国とは親交があり、6世紀には五経博士が来日して儒教などを伝えた。7世紀中頃に滅ぼされると、その復興をめざす王族〈か〉らの要請を受け、斉明天皇は援軍派遣を決定した。

- a. 〈お〉：辰韓 〈か〉：鬼室福信
- b. 〈お〉：辰韓 〈か〉：曇徴
- c. 〈お〉：馬韓 〈か〉：鬼室福信
- d. 〈お〉：馬韓 〈か〉：曇徴

6. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

i. 熊本県の江田船山古墳出土の鉄刀は、大王に仕えた文官ムリテが支配権維持のためにつくった

ii. 埼玉県の新井山古墳出土鉄剣には、大王の天下統治を武官ヲワケが助けたことが示されている

a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤

c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤

7. これに関する次の文中の空所〈き〉・〈く〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

隋の皇帝にこれを渡した遣隋使は〈き〉であった。『隋書』倭国伝によれば、隋の初代皇帝〈く〉にも倭王から使いが派遣されている。

a. 〈き〉：犬上御田鍬 〈く〉：文帝

b. 〈き〉：犬上御田鍬 〈く〉：煬帝

c. 〈き〉：小野妹子 〈く〉：文帝

d. 〈き〉：小野妹子 〈く〉：煬帝

8. これに関する次の文中の空所〈け〉・〈こ〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

菅原道真の失脚を中心的題材とした文楽と歌舞伎の演目である。道真は遣唐使の中止を進言して採用されるなど、重用されていたが、〈け〉天皇の時、左大臣の藤原〈こ〉の策謀により大宰権帥に左遷され、任地で死去した。

a. 〈け〉：宇多 〈こ〉：時平

b. 〈け〉：宇多 〈こ〉：基経

c. 〈け〉：醍醐 〈こ〉：時平

d. 〈け〉：醍醐 〈こ〉：基経

9. これに関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

i. 1872年、男女の別なく、すべての国民に小学校で学ぶことを奨励する布告が出された

ii. 1872年、フランスの学制を参考に、全国を 8 大学区にわける統一的な学制が公布された

a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤

c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤

10. これに関する次の文中の空所〈さ〉・〈し〉それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。

1880年代に坪内逍遙は『小説神髓』を著し、道徳や政治から独立した文学の価値を主張した。〈さ〉の『浮雲』は、話し言葉に文章を一致させる文体でしるされ、この主張を具体化する代表作となった。〈し〉が主宰する硯友社に参加した山田美妙も言文一致を唱え、模索した。

a. 〈さ〉：二葉亭四迷 〈し〉：尾崎紅葉

b. 〈さ〉：二葉亭四迷 〈し〉：幸田露伴

c. 〈さ〉：矢野龍溪 〈し〉：尾崎紅葉

d. 〈さ〉：矢野龍溪 〈し〉：幸田露伴

Ⅱ. 次の文1～5を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

- 18世紀後半以降、豪農や地主が力をつける一方で土地を失う百姓が多く発生し、とくに関東の農村では耕作放棄や離村による荒廃地域が増大した。幕府はこの状況に対応するために11代将軍（イ）在位中の1827年に、幕領・私領・寺社領の領主の違いをこえて、近隣の村々を組み合わせた（ロ）をつくらせ、協同して地域の治安や風俗の取り締まりにあたらせて農村の秩序維持をはかった。（イ）の死後には、老中首座水野忠邦を中心に天保の改革¹⁾が実施されたが十分な成果は上らず、米を年貢として取り立てることを基盤としていた幕藩体制は弱体化した。
- 新政府は近代的な国家体制づくりを進めたが、そのなかでも主要なもののひとつが土地制度・財政の改革²⁾だった。1871年には作付制限令を廃止し、翌1872年には田畑永代売買の禁止令を解くとともに土地所有権の確認書である地券を発行し、1873年には（ハ）条例を公布して近代的な租税制度づくりを推進した。明治十四年の政変³⁾後に大蔵卿に就任した（ニ）が厳しい緊縮・デフレ政策をおこなったことから米や繭の価格が下がり、増税も加わって多くの自作農が没落した。困窮した農民から農地を買集めた裕福な地主は耕作から離れて小作料収入に依存する（ホ）地主となっていたが、そのなかには投資を行ったり企業を設立したりすることにより資本主義との結びつきを深めていったものもあった。
- 1880年代以降、農業の柱である米作は、肥料の普及や品種改良により生産量が増加したが、増大する人口の需要に追いつかなかった。この一方で生糸の輸出拡大に伴い、各地で養蚕が盛んとなる。1890年代以降、東南アジア産の外米の輸入量の増大や、植民地となった台湾や朝鮮からの米の移入が進むなかで米価は安定しなかった。
1920年3月の株式市場の暴落を契機として発生した（ヘ）恐慌からはじまる一連の経済不況は農村に深刻な影響を与え、米や生糸の価格は下落した。このような状況のなかで小作争議が増加し、1922年には杉山元治郎や賀川豊彦らにより小作人組合の全国組織である（ト）組合が設立された。1930年には豊作による米価の下落が生じ、さらに翌年の北海道・東北地方の大凶作により事態が深刻化していった。政府はこうした農村の困窮⁵⁾に対して対応を迫られた。
- 第二次世界大戦の敗戦後、GHQは民主化政策の一環として農地改革の実施を政府に

求めた。農地改革は2次にわたって実施され、その結果多くの農民が自作農となった。

1955年には保守一党優位のもとで2つの政党が対立することを基礎とする政治体制で⁶⁾ある55年体制が成立したが、この時期から生産力の向上や食糧管理制度などの政策により農家所得が向上しはじめた。1961年には農業の近代化と米中心の農業からの構造転換を図ることを主な目的とした（チ）法が制定された。

5. 戦後の経済は朝鮮戦争による特需などを経て復興に向かい始めた。1955年から1957年にかけて「（リ）景気」と呼ばれる大型景気を迎え、ここからはじまる高度経済成長期⁷⁾に農業のありかたは変化した。この時期に農業人口や専業農家は減少し、貿易の自由化⁸⁾が進展するなかで輸入農産物が増加し食糧自給率が低下した。また、経済成長⁸⁾のなかで大気・水質汚染などが深刻となる公害が発生し、農業をはじめとする食糧生産にも影響をもたらして大きな社会問題となった。たとえば神通川流域で発生した（ヌ）病は、鉱山から排出された重金属であるカドミウムが農業用水や生活用水に流入し、これを長期的に過剰摂取したことが原因となった。

A. 文中の空所(イ)～(ヌ)にそれぞれあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～8)それぞれに対応する次の問1～8に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 江戸に流入した貧民を帰郷させるため人返しの法を定めた
- b. 外国船の接近に備えるため異国船打払令を出した
- c. 困窮する旗本や御家人を救済するため棄捐令を出した
- d. 物価引き下げを期待して株仲間の解散を命じた

2. これに関する次の語句i～iiiについて、もっとも古いものから年代順に並んでいる組み合わせはどれか。下記のa～fから1つ選び、その記号をマークせよ。

- i. 秩禄処分
- ii. 内務省設置
- iii. 廃藩置県

- a. i - ii - iii
- b. i - iii - ii
- c. ii - i - iii
- d. ii - iii - i
- e. iii - i - ii
- f. iii - ii - i

3. これに関する説明として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 板垣退助ら征韓派参議が一斉に下野した
 - b. 片岡健吉ら民権派が言論の自由など 3 項目からなる建白書を元老院に提出した
 - c. 河野広中ら自由党員が逮捕された
 - d. 国会の即時開設を主張する大隈重信らが伊藤博文らにより政府から追放された
4. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 台湾総督府の初代総督となったのは寺内正毅だった
 - b. 台湾総督府の 2 代総督となった後藤新平は土地調査事業に着手した
 - c. 少数民族が蜂起した五・四運動が 1930 年に発生した
 - d. 三井の出資により台湾製糖会社が設立された
5. これに関する政策として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 産業組合の拡充などを通して「自力更生」をはかる農山漁村経済更生運動を推進した
 - b. 時局匡救事業を実施して、農民が現金収入を得られるようにした
 - c. 農村の経済支援のために農業協同組合の設立を推進した
 - d. 農民入植を目的のひとつとした満洲（州）移民を推進した
6. この体制は 2 つの政治勢力の再編により生み出された。それぞれどのような再編だったのか、政党名を示しながら 60 字以内で説明せよ。
7. この時期に関する次の文 i・ii について、その記述の正誤の組み合わせとして正しいのはどれか。下記の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- i. 人権問題が注目されるようになり部落差別解消を目的とした同和对策事業特別措置法が施行された
 - ii. 都市銀行を中心に諸業種にわたる企業が系列的に組織される企業集団の形成が進んだ
- a. i : 正 ii : 正 b. i : 正 ii : 誤
 - c. i : 誤 ii : 正 d. i : 誤 ii : 誤

8. これに関する日本についての記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ 選び、その記号をマークせよ。

- a. 1964年に I M F 8 条国への移行と O E C D 加盟をおこなった
- b. 1980年代の自動車輸出急増が日米貿易摩擦深刻化の要因のひとつとなった
- c. 1985年のプラザ合意に基づいて牛肉・オレンジの輸入自由化を実施した
- d. 1993年の G A T T ウルグアイラウンドで農産物の輸入完全自由化に合意した

【以下余白】

